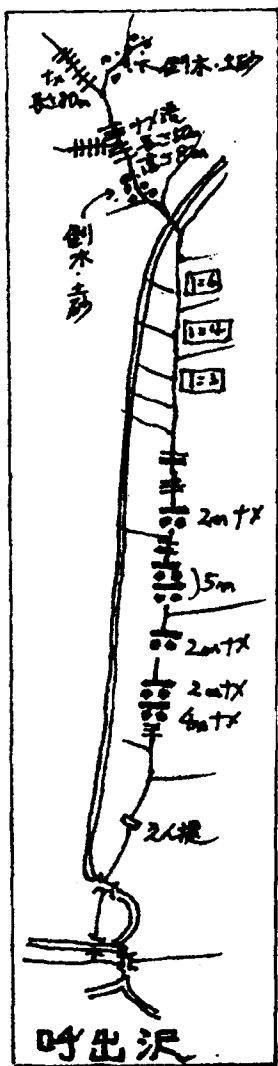


呼出沢 1985年8月4日
I



出合から見た呼出沢は、河原状であったので、しばらく林道を歩いてから沢に下る。沢はほとんどナメとナメ滝で、特に困難な場所もないまま上部の二俣に出る。林道はこの先も右俣にそって続いている。

私達は左俣に入る。しかし、すぐに倒木と土砂で沢は埋まった状態となってしまった。倒木の上を乗り越えて進むと、高さ8m、長さ50m、幅3~4mのナメ滝となる。これを越すと、沢はまた倒木と土砂で埋まっている。しばらくその上を歩くが、倒木の上をただ歩くだけなので、適当な所で遊行を切り上げる。

下降後、林道でノイチゴを採りながら、トヤス沢出合の幕営地に戻る。

(記)

[タイム] 呼出沢出合(6:25)→二俣(8:05)→遊行終了(8:45)

小沢倉沢

1985年8月4日

I

トヤス沢出合の幕営地から20分程腐道寸前の道を歩き、砂防ダムを越して小沢倉沢出合に着く。すぐに6mの滝。このあとも小滝が連続し、天気の良いことも手伝って、楽しい遊行となる。

出合から20分程でF₂ 6mの滝が現われる。右岸を直登するが、すべりやすいので、セカンドにはザイルを出す。この上は美しいナメが続き、すぐにまたF₂ 6mの滝となる。ここから二俣までは階段状の連続帯となる。

二俣着7:55。小休止とする。ほぼ1:1の水量比だ。この先はナメと小滝の連続となる。右にザレ場を見送ると、

